



株式会社ウィルグループ会社説明資料

2022年7月7日

株式会社ウィルグループ （東証プライム市場 6089）

目次

1. ウィルグループについて
2. 2022年3月期 決算概要
3. 中期経営計画（WILL-being 2023）進捗
4. 2023年3月期業績予想、株主還元
5. サステナビリティ



1

ウィルグループについて

ポイント①

中期経営計画は、順調に進捗

ポイント②

今期は、国内事業が成長見通し

当社グループは、“ハイブリッド派遣”が特徴で、国内外で人材派遣、業務請負及び人材紹介事業を展開。

事業内容

セールス分野、コールセンター分野、ファクトリー分野、介護ビジネス分野、建設技術者分野など、カテゴリー特化型の人材サービス（人材派遣、業務請負、人材紹介）を主とする人材ビジネスを国内、海外で展開しています。

特徴

高い成長率を誇る人材派遣
・業務請負・人材紹介の
主要プレイヤー

- ・持続的成長を続ける既存事業
- ・高い参入障壁を築く「ハイブリッド派遣」モデルと外国人労働者の派遣
- ・積極的な新規領域への投資

設立年

2006年（創業：1997年）

主 連結財務数 要 値

（2022.3月期）

売上収益 1,310億円

営業利益 54億円

本 グループ会社数 社 数

本社：東京
グループ会社数：48社
（国内：16社、
海外：中間持株会社（1社）＋9グループ（31社））

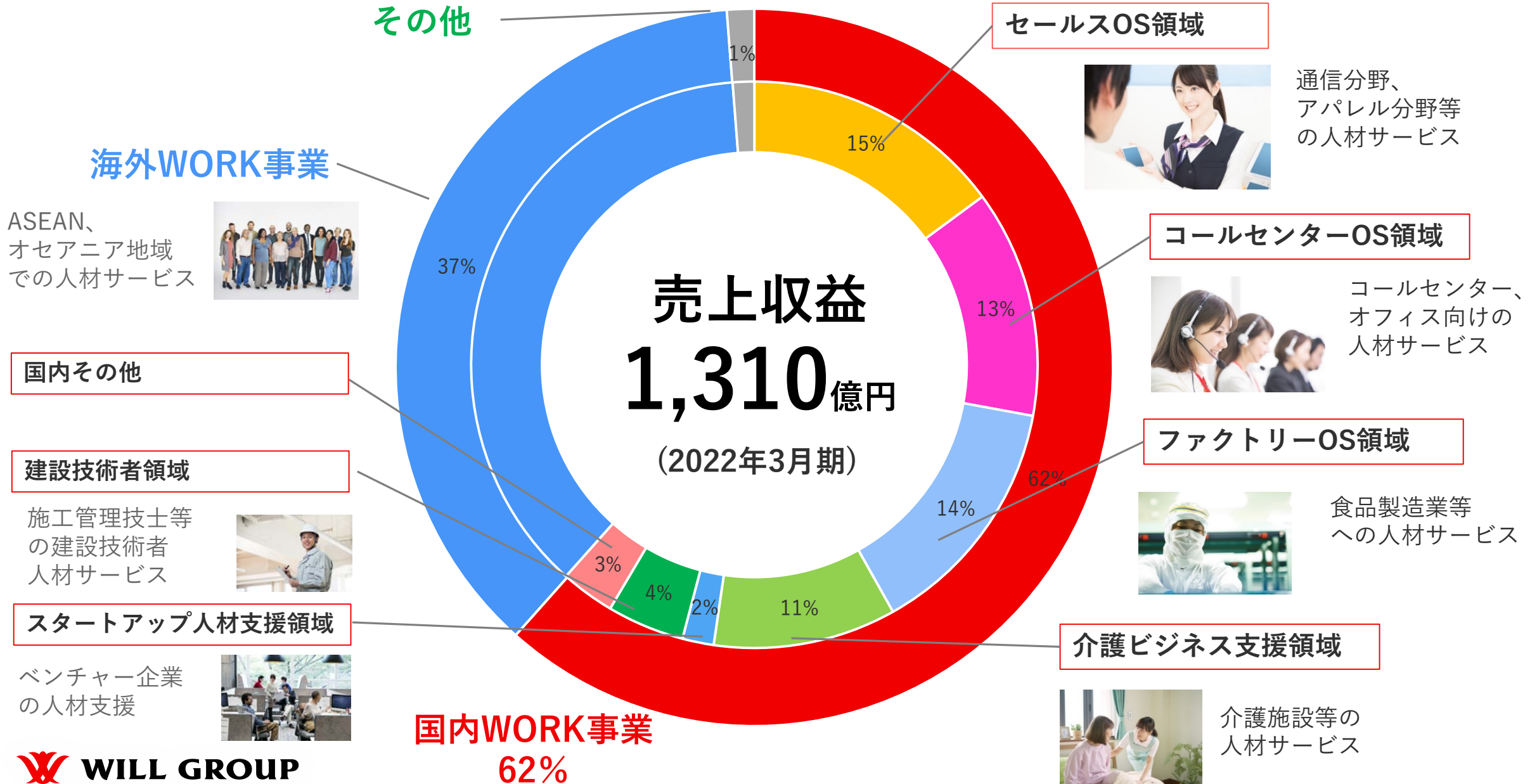
連結従業員数 （2022年3月末）

5,363名

2017-2021年度 JPX日経中小型指数銘柄選定

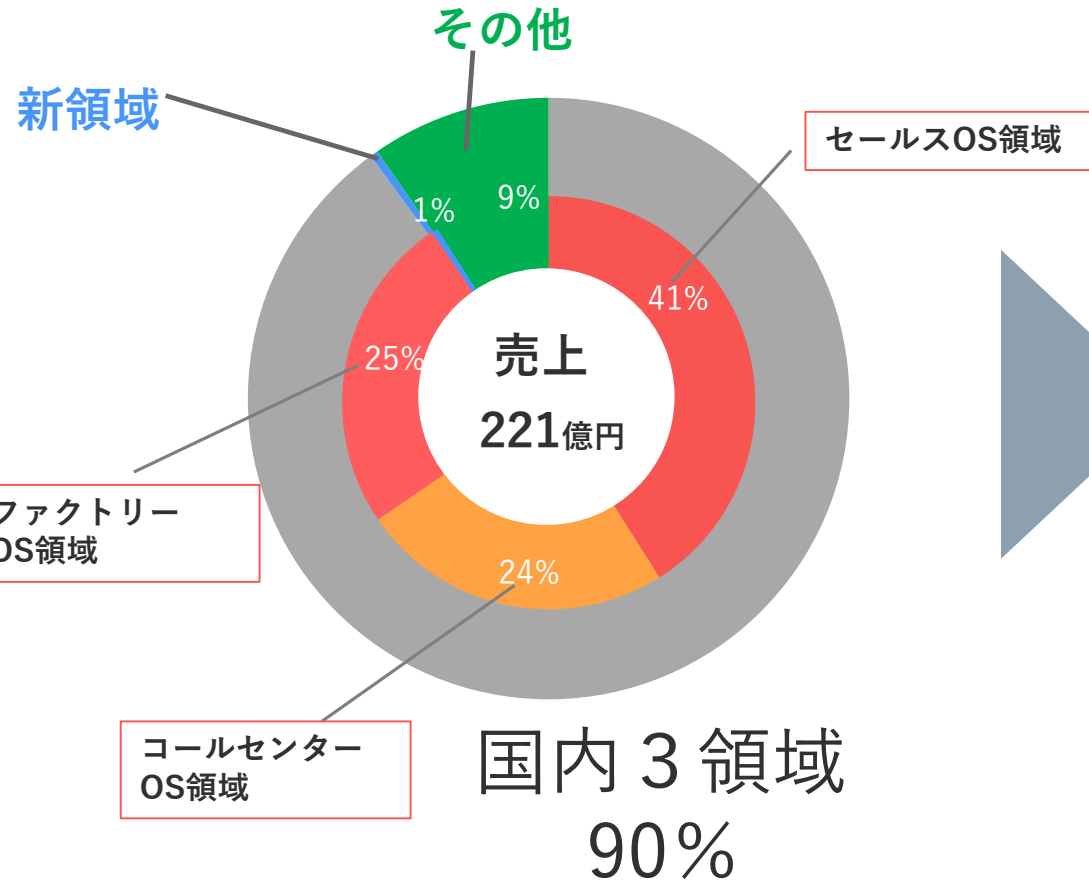


事業内容と売上構成

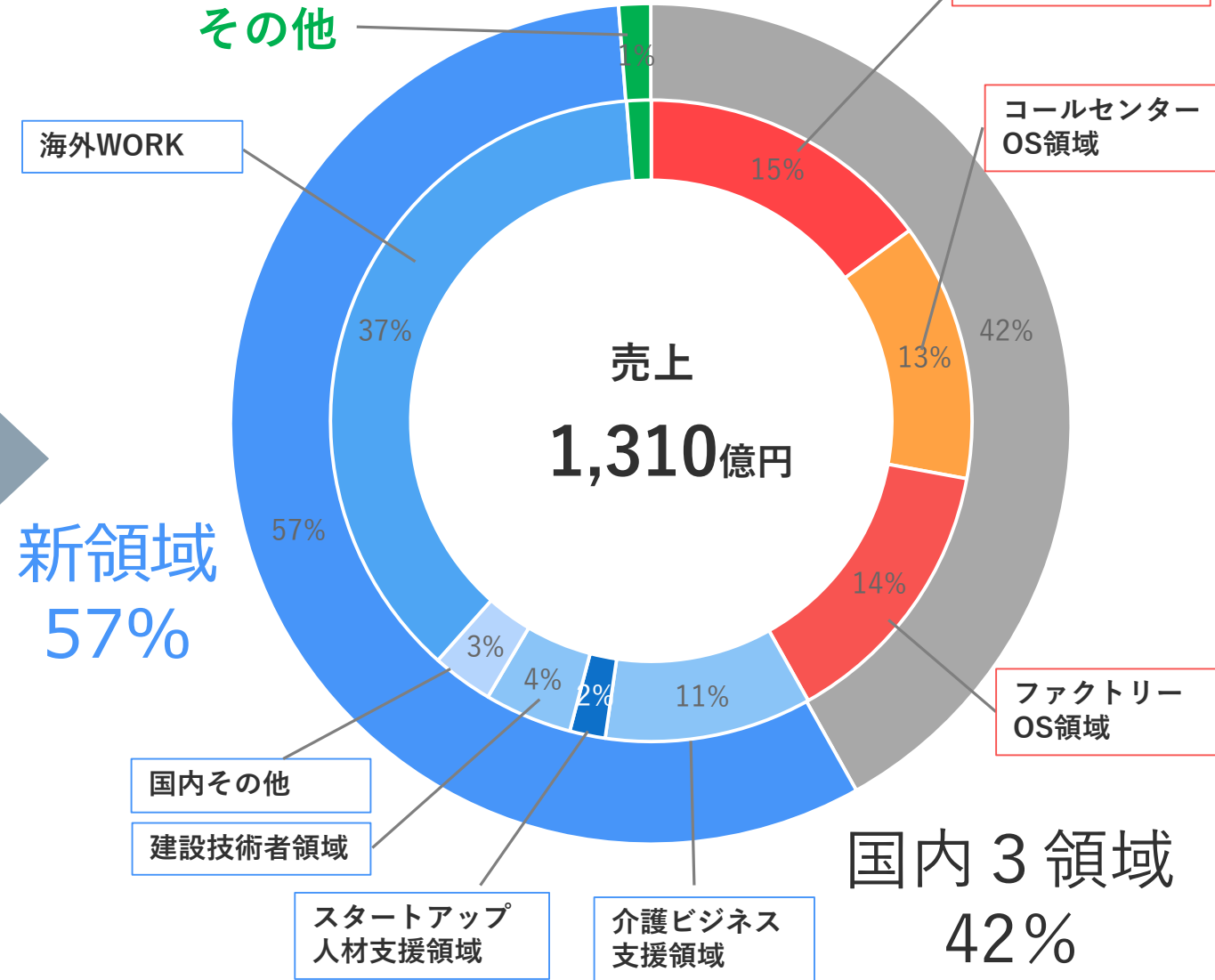


売上構成比の変化

2013年3月期



2022年3月期



ウィルグループの成長力

	2013年3月期 (日本基準)		2022年3月期 (IFRS)
売上高	221億円	× 5.9	1,310億円
営業利益	6.1億円	× 9.0	54.7億円
1株当たり 当期純利益	18.30円	× 8.0	147.03円
1株当たり 配当額	4.1円	× 8.3	34.0円
	2013/12/30		2022/6/30
株価	342円	× 3.4	1,150円

2

2022年3月期 決算概要

1

中期経営計画の経営目標である、営業利益、営業利益率目標は、1年前倒しでクリア。

2

Perm SHIFTにより売上総利益率は、直近3期の四半期ベースでは過去最高。通期ベースでは、上場以降過去最高。

3

財務指標目標のうち、親会社所有者帰属持分比率は、中期経営計画目標：20%を上回って進捗。

2022年3月期 業績ハイライト

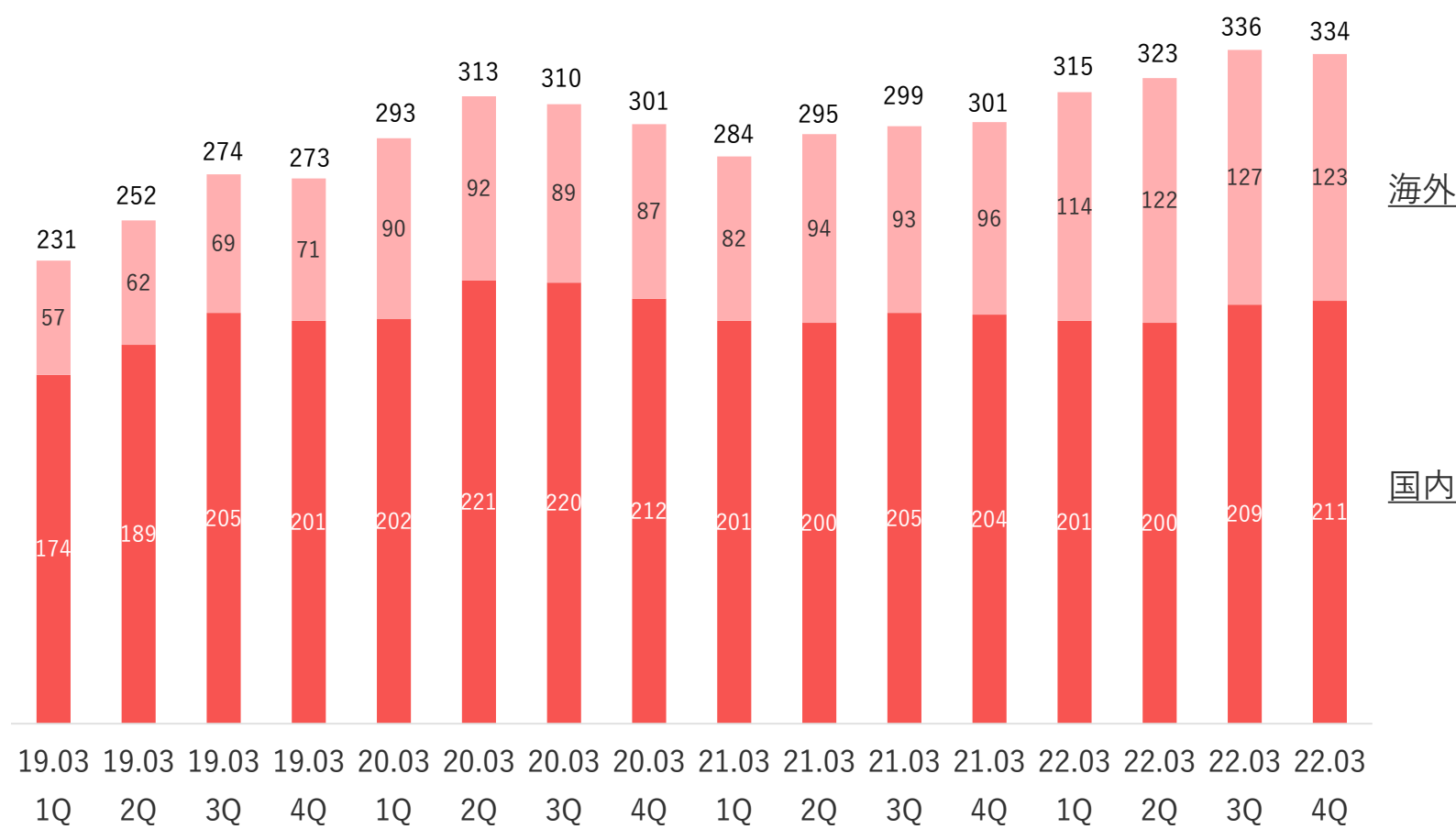
売上収益は、海外WORK事業が牽引し、2桁増収。

営業利益は、前期の一過性利益9.5億円が剥落、Perm SHIFT推進にむけた戦略投資領域（建設、介護、スタートアップ人材支援）での先行投資約10億円を実施したものの、人材紹介売上が増加し、売上総利益伸長により過去最高益。

	実績	前期比
売上収益	1,310.8億円	+ 10.9% (+128.3億円)
売上総利益率	21.9%	+ 1.6pt
営業利益	54.7億円	+ 35.8% (+14.4億円)

連結売上収益の四半期推移

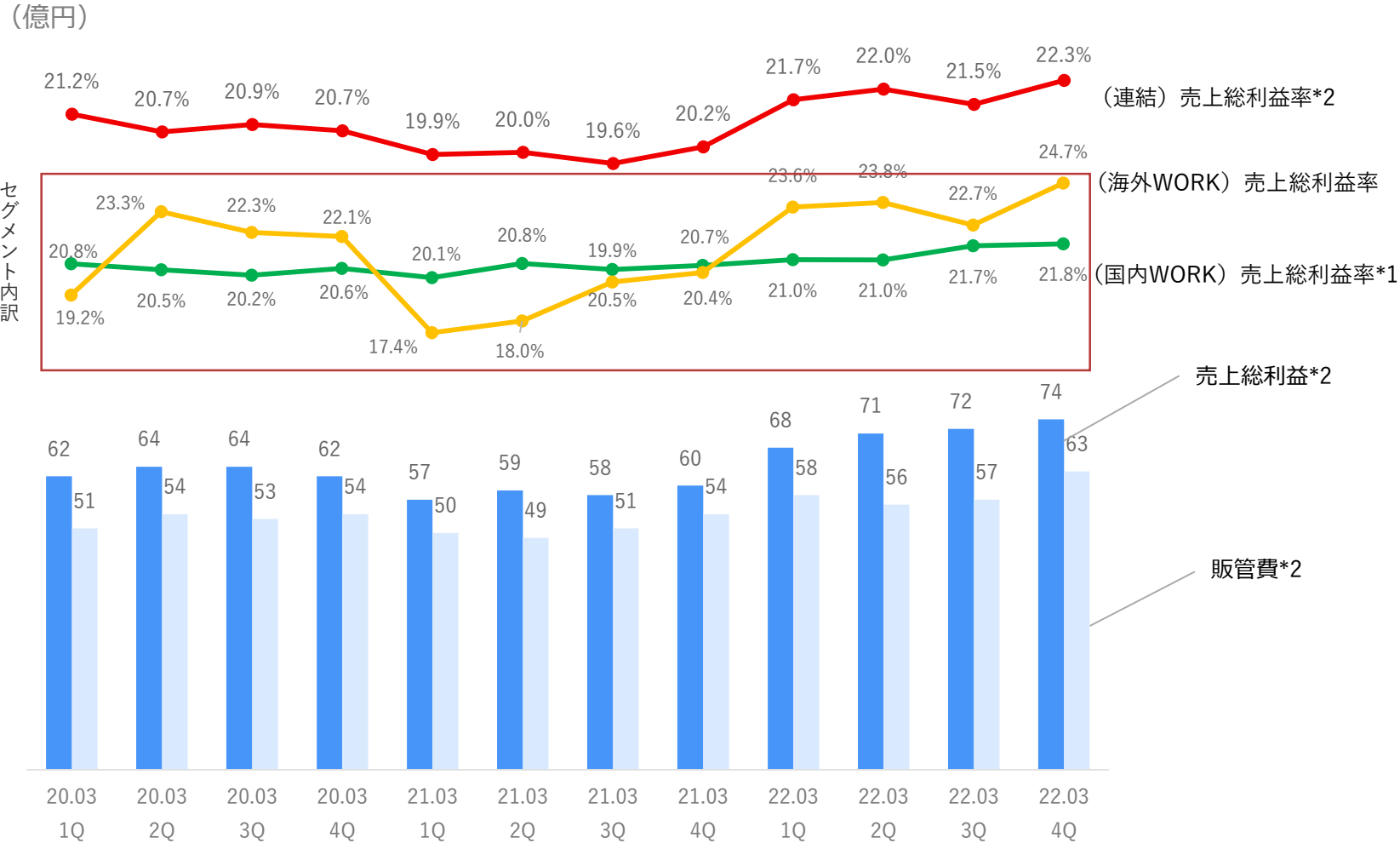
(億円)



海外は、引き続き順調。
国内も回復基調で感染症拡大（2021.1Q-）以降では、
最高売上。

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

売上総利益率の四半期推移



Perm SHIFTにより、
連結売上総利益率は、
直近3期では、過去最高。

先行投資は、
計画： 10.1億円
実績： 10.1億円

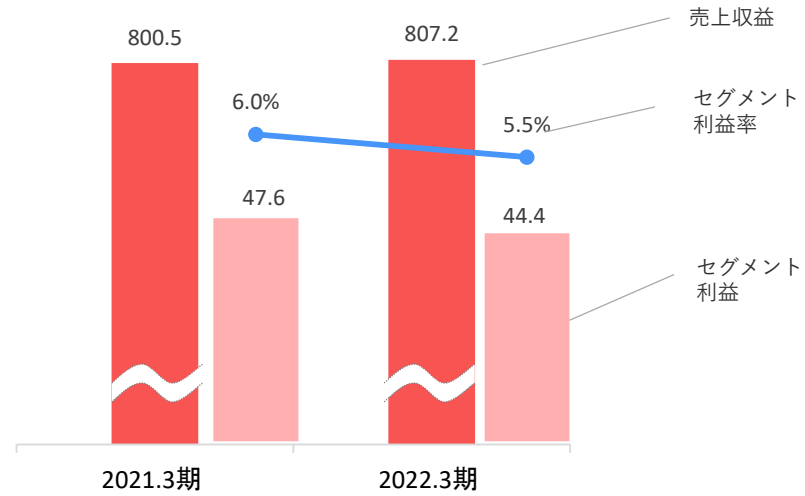
*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

*2売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

セグメント業績概要

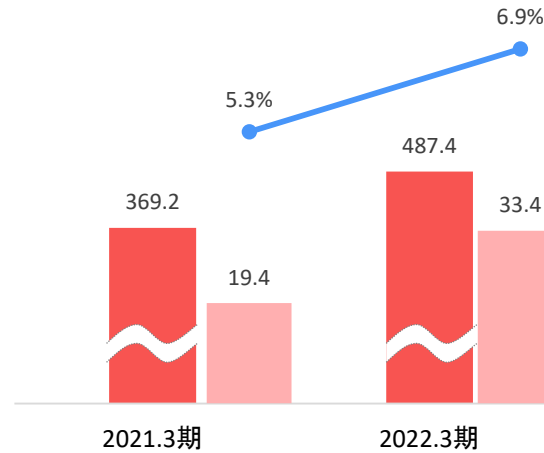
(億円)

国内WORK事業



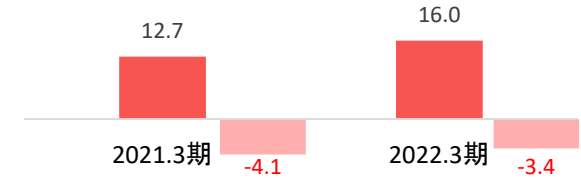
- ・ 4Qの稼働スタッフ数は、2022.3期3Q比で全領域増加。
- ・ 介護の人材紹介、建設技術者、スタートアップ人材支援領域への先行投資（10.1億円）実施。

海外WORK事業



- ・ 豪州、シンガポールとも新型コロナウイルス感染症拡大により、規制強化の措置があったものの、景気は回復に向かっていていることから、人材需要は堅調に推移し、人材紹介売上が大幅に増加。

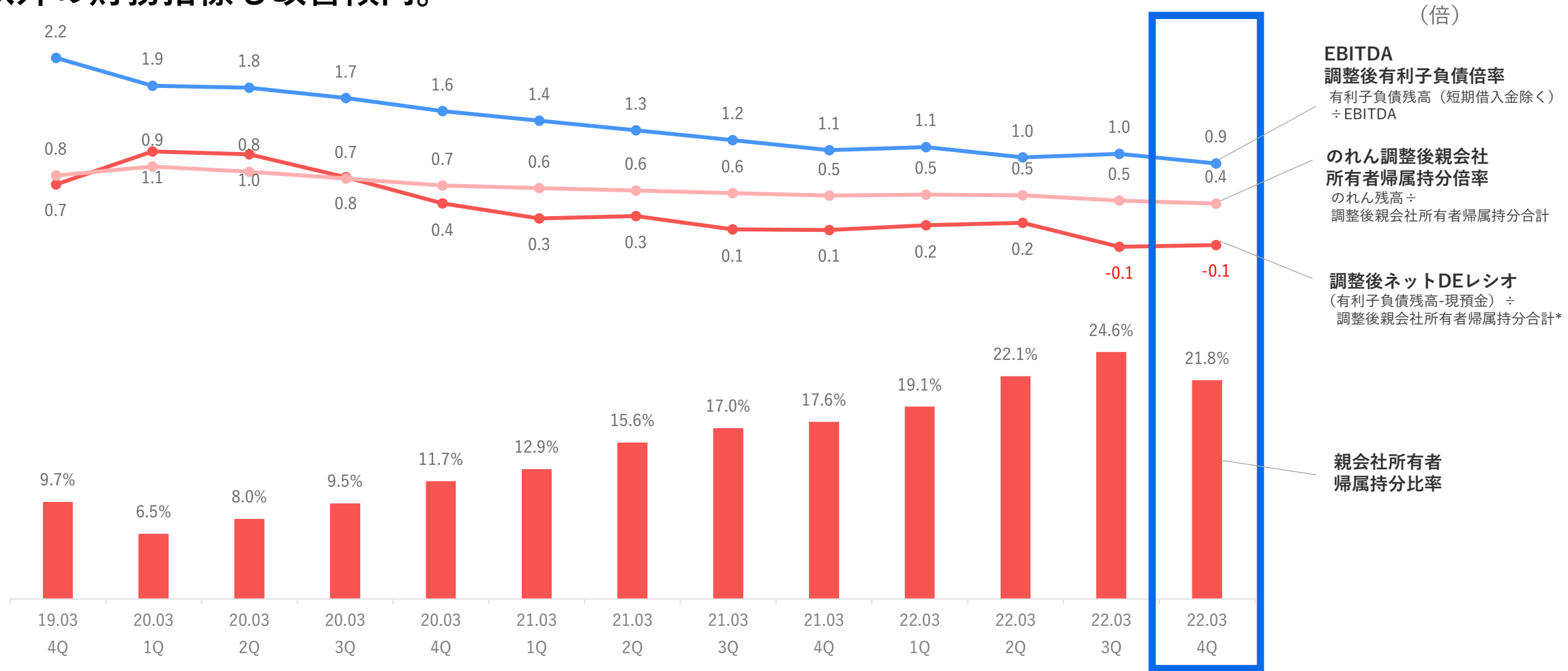
その他



- ・ 探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。

財務指標

親会社所有者帰属持分比率は、4Qで21.8%。中期経営計画目標：20%を上回って進捗。
それ以外の財務指標も改善傾向。



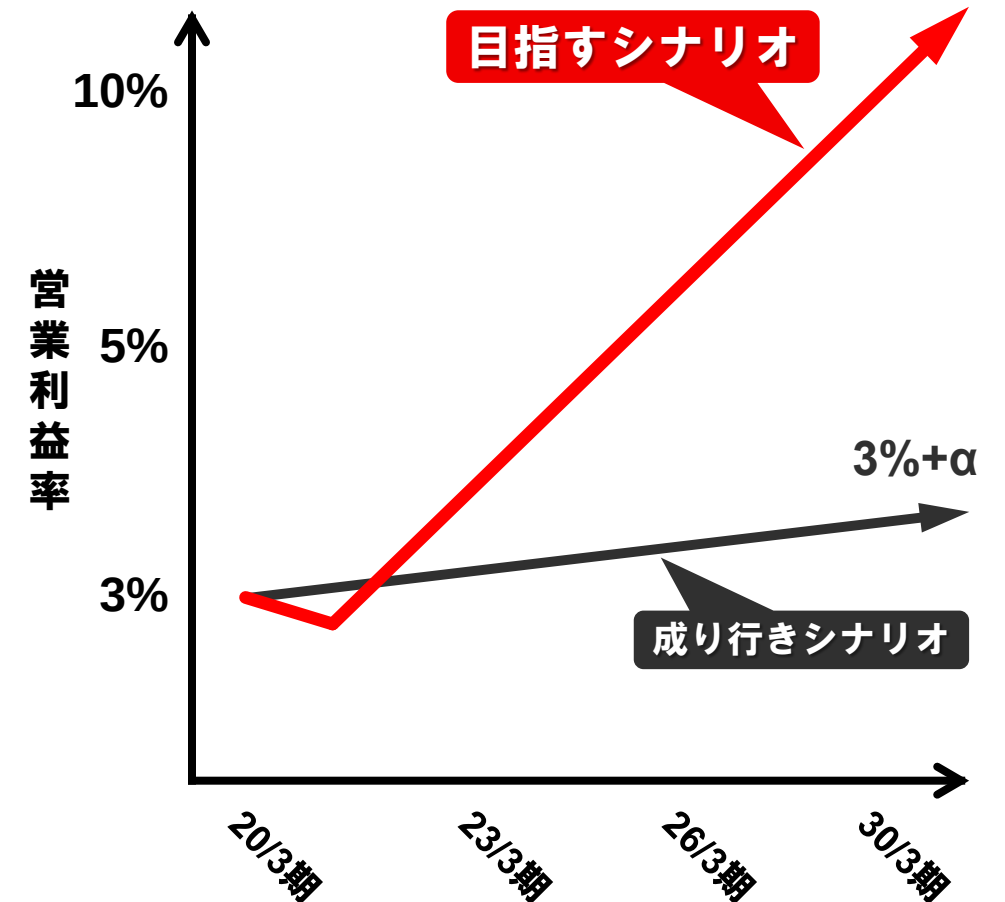
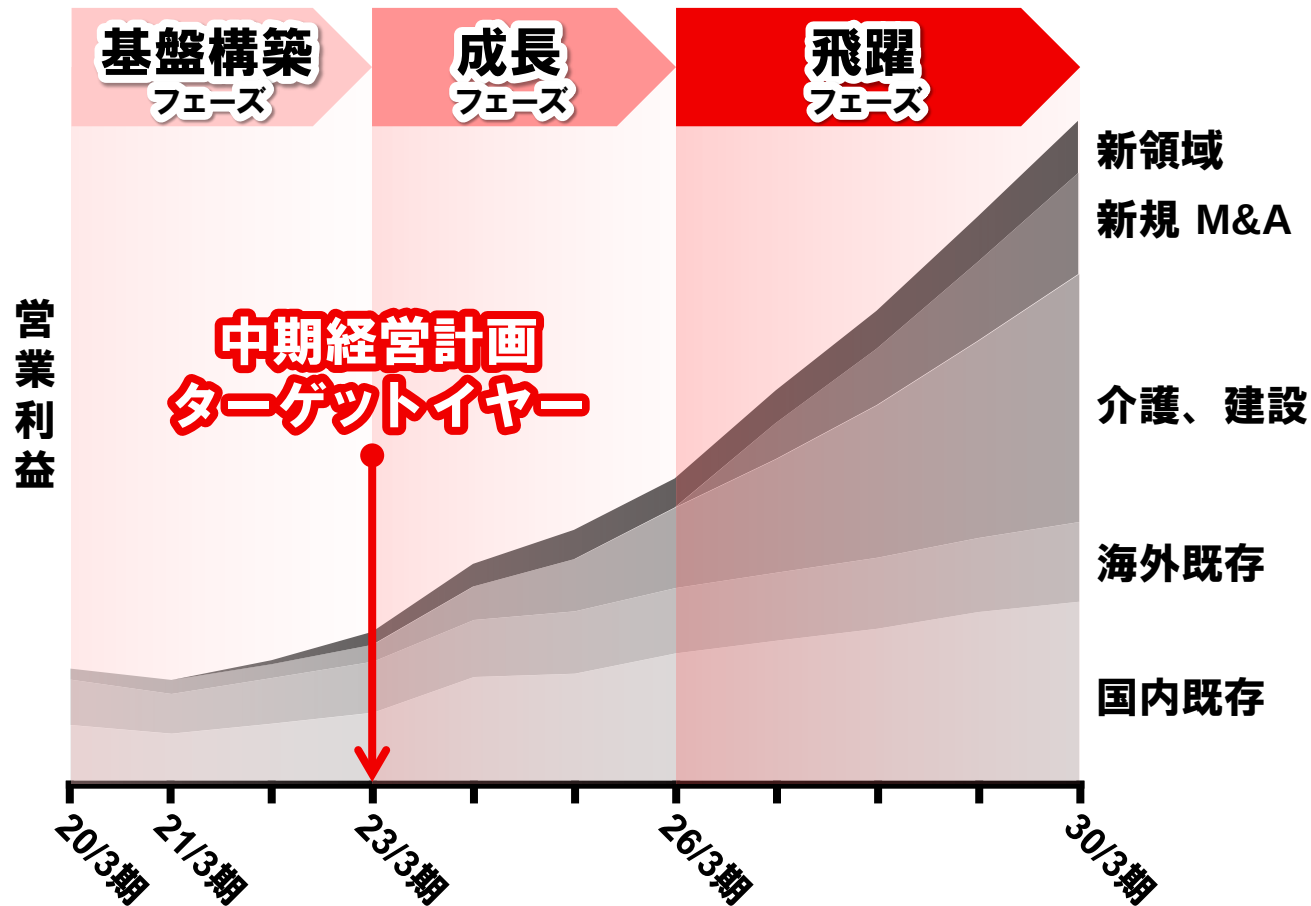
3 中期経営計画（WILL-being 2023）進捗



中長期成長シナリオ

利益体質を変えて、将来の飛躍的な成長を実現する。

中長期シナリオ



中期経営計画(WILL-being 2023)

基本方針

高収益体質化に向けての、基盤構築。

中期経営計画

(2021年5月12日公表)

【テーマ】 WORK SHIFT戦略による高収益体質化

ポートフォリオシフト と デジタルシフト により、営業利益率を高める。

【経営目標*1】 2023年3月期 売上高 **1,335** 億円 営業利益 **53.5** 億円 営業利益率 **4.0%**

【重点戦略】 戦略Ⅰ ポートフォリオシフトによる収益性の改善

戦略Ⅱ デジタルシフトによる生産性の改善

戦略Ⅲ 次なる戦略投資領域の探索

戦略Ⅳ 財務戦略

親会社所有者帰属持分比率
20%以上

ROIC
20%以上

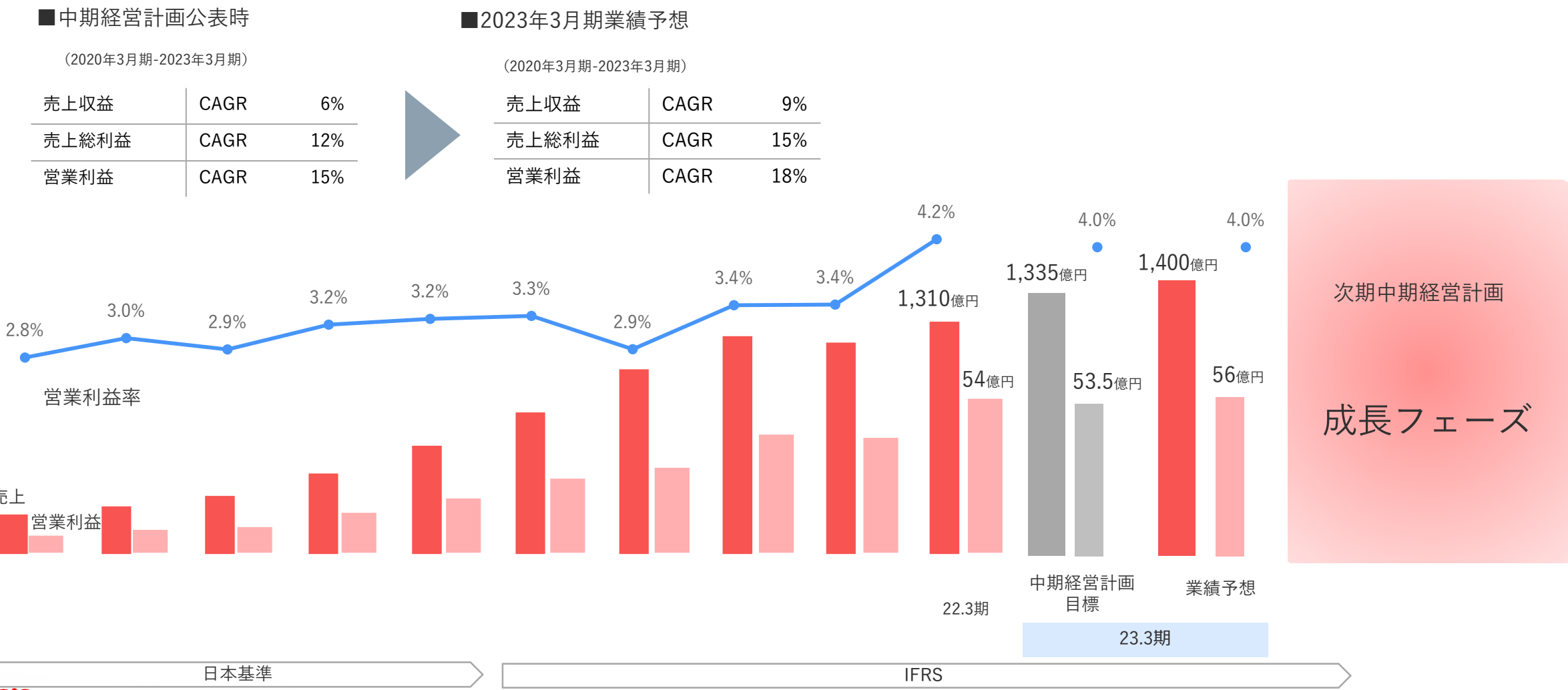
総還元性向*2
30%以上

*1 2021年5月12日公表時点の数値

*2 期首業績予想に対する総還元性向

2023年3月期 連結業績予想

売上収益、営業利益とも中期経営計画経営目標値を上回り、過去最高の更新を目指し、次期中期経営計画の「成長フェーズ」に繋げる。



中期経営計画（WILL-being 2023）進捗サマリ

進捗が遅れている部分については、今期で取り戻し、重点戦略の全項目達成を目指す。

重点戦略		内容	2022年3月期での進捗	
戦略Ⅰ	ポートフォリオシフトによる収益性の改善 (国内WORK事業・海外WORK事業) 利益最大化領域、戦略投資領域	- Perm（人材紹介、専門性の高い領域への人材派遣）領域を拡大。特に、介護、建設技術者、スタートアップ人材支援領域にフォーカス。 (指標) - 戦略投資領域 = 売上成長率 - 利益最大化領域 = 営業利益率	△	(戦略投資領域) - 建設：△（未経験中途採用は、当初の想定より遅れている。） - 介護：△（紹介予定派遣は、当初の想定より遅れている。） - スタートアップ人材支援：○（好調に推移。）
			○	(利益最大化領域) - 国内W：○（経済条件見直し等により、売上総利益率が改善し、営業利益率が改善。） - 海外W：○（リバウンド需要もあったが、ベースは着実にUP。）
戦略Ⅱ	デジタルシフトによる生産性の改善 (国内WORK事業・海外WORK事業) 利益最大化領域	デジタルシフトにより、1人当たり生産性を高める。	△	- WILLOFスマホアプリの機能の強化（申請のオンライン化等）を継続実施。 2021年7月1日付で、主要子会社の合併を行い、営業拠点、管理業務を集約。
戦略Ⅲ	次なる戦略投資領域の探索 探索領域	- 在日外国人向けサービスの拡大。 - IT人材サービスの拡大。 - HRTechは、主軸事業周辺領域での展開を探索。	△	- 在日外国人向けサービスは、入国制限が続き当初の想定を下回る。 - IT人材サービスは、派遣・紹介とも着実に増加。 - 建設技術者領域でのサービス等、プロダクト開発中。
戦略Ⅳ	財務戦略 グループ全体	- 親会社所有者帰属持分比率：20%以上 - ROIC：20%以上（資本コストは10%程度） - 総還元性向：30%以上	○	- 親会社所有者帰属持分比率は、2022年3月末時点で21.8%。 - ROICは、営業利益率向上により上昇。 22.3期の総還元性向：23.6%（期首業績予想ベースは、42.2%）

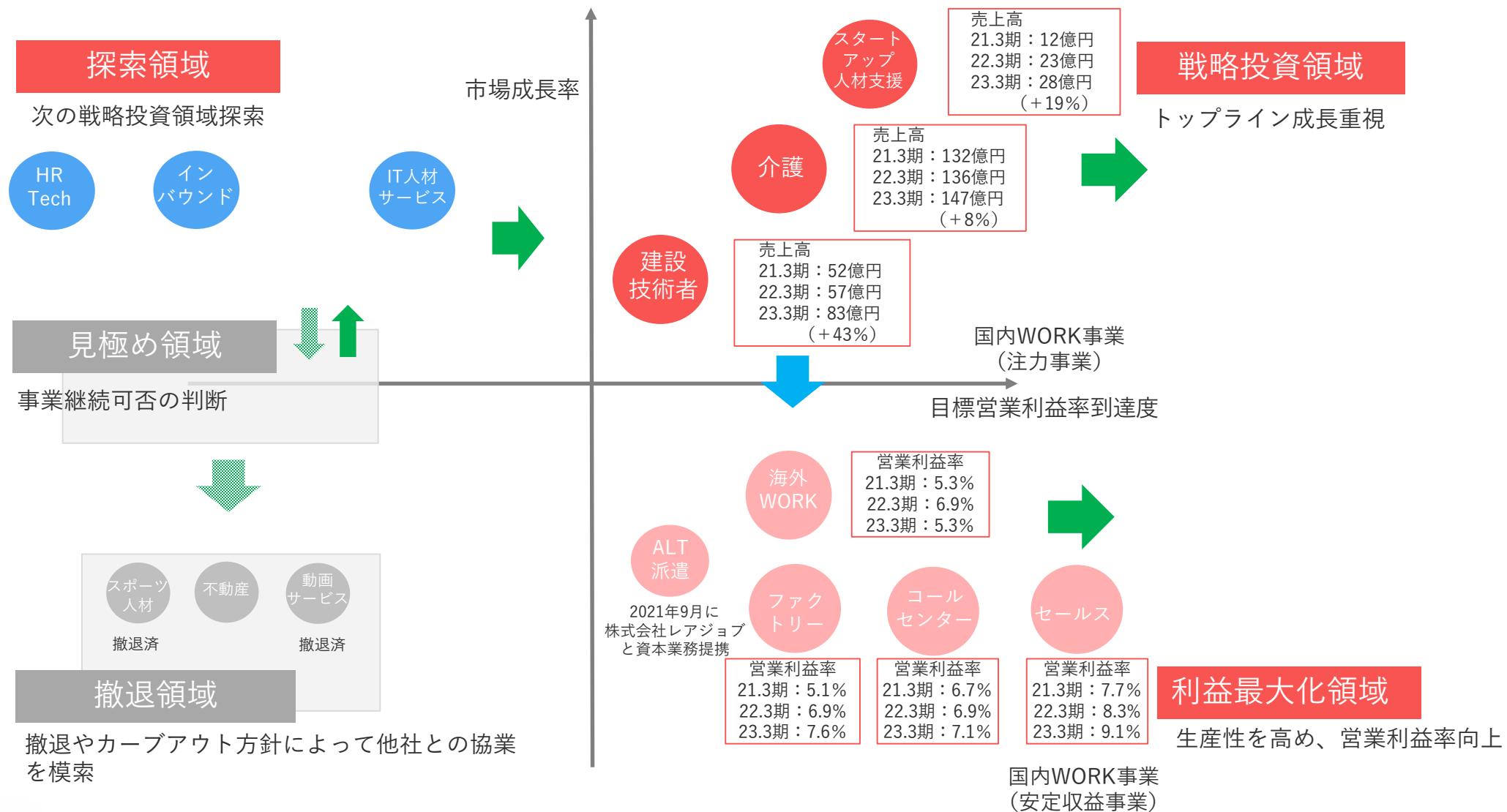
中期経営計画経営目標と2023年3月期業績予想の比較

2023年3月期は、中期経営計画の通り先行投資は、13億円実施予定。財務目標については、現時点でROICを除いて、中期経営計画目標を達成見通し。ROICは、投下資本の見直し等により達成を目指す。

	KPI	2020.3月期	2021.3月期	2022.3月期		2023.3月期	
				(中期経営計画)	(実績)	(中期経営計画)	(業績予想)
収益性指標	売上収益 (前期比)	1,219億円 (+18%)	1,182億円 (△3%)	1,210億円 (+2%)	1,310億円 (+11%)	1,335億円 (+10%)	1,400億円 (+7%)
	売上総利益率	20.8%	20.3%	21.2%	21.9%	22.6%	22.6%
	販管費 (うち先行投資費用)	214億円	204億円	222億円 (13億円)	235億円 (10億円)	248億円 (13億円)	259億円 (13億円)
	営業利益 (営業利益率)	41.4億円 (3.4%)	40.3億円 (3.4%)	34.0億円 (2.8%)	54.7億円 (4.2%)	53.5億円 (4.0%)	56.0億円 (4.0%)
財務指標	ROIC	14%	14%	12%	17.9%	20%	18.6%
	親会社所有者帰属持分比率	11.7%	17.7%	19%	21.8%	22%	24.8%
	総還元性向	25.1%	22.9%	30.6%	23.6%	30.0%	30.2%

中期経営計画における事業ポートフォリオ

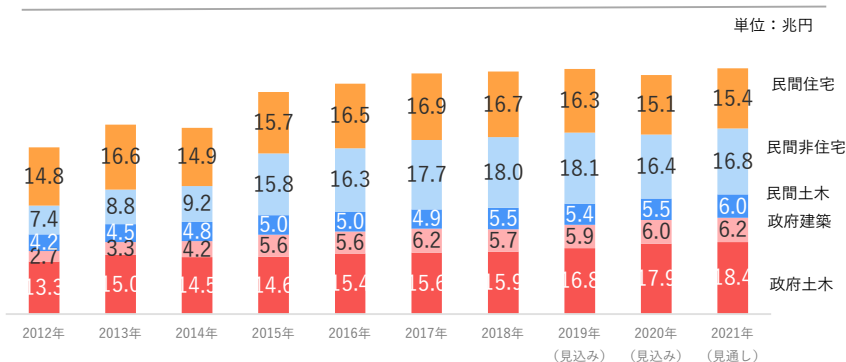
進捗遅れが一部あるものの、概ね順調に進捗。



建設領域の外部環境

建設需要は堅調。2024年4月から「働き方改革関連法」が建設業界にも適用予定。
そのため、残業時間規制によって、人材需要の高まりが期待される。

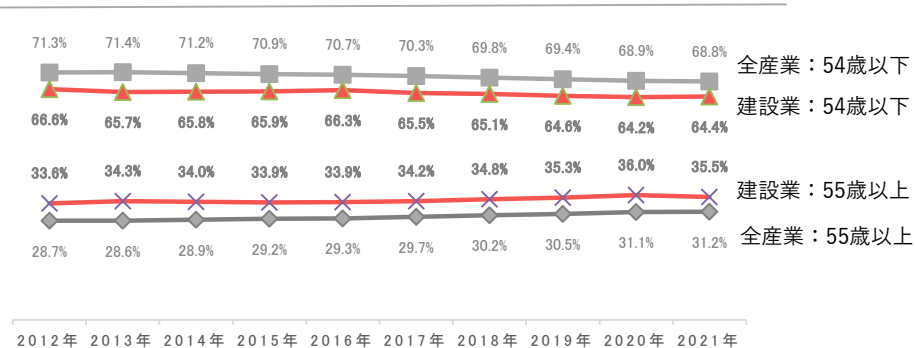
名目建設投資額



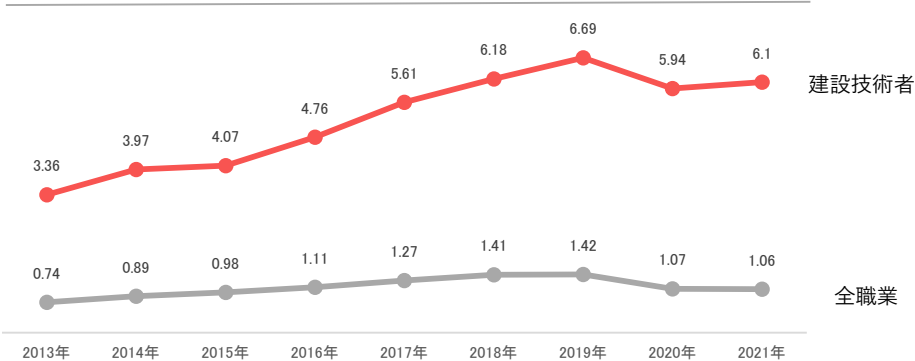
建設業 就業者数の推移



建設業 年齢別就業者数の推移



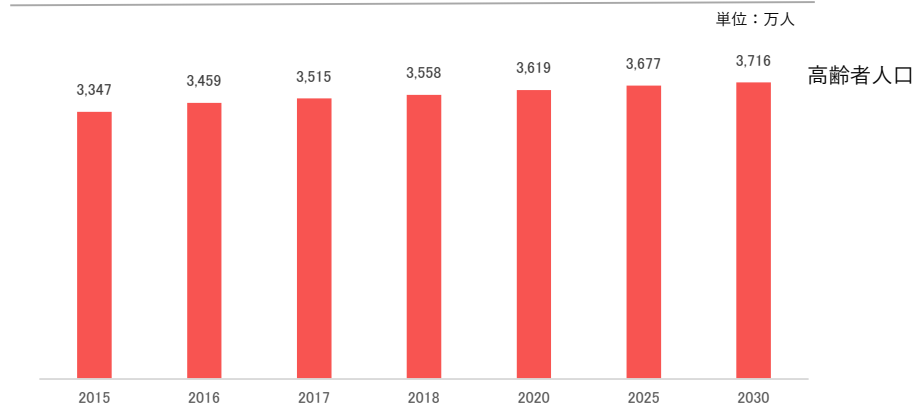
建設業 有効求人倍率の推移



介護領域の外部環境

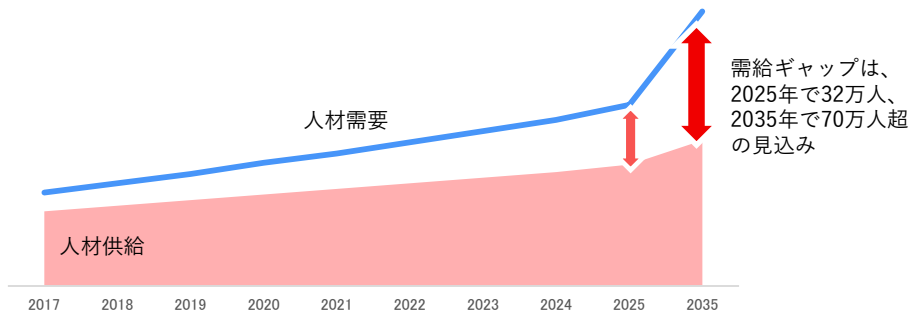
介護人材は慢性的な人手不足で需要は引き続き増加傾向。外国人人材などの登用含め市場は引き続き拡大傾向。

高齢者人口



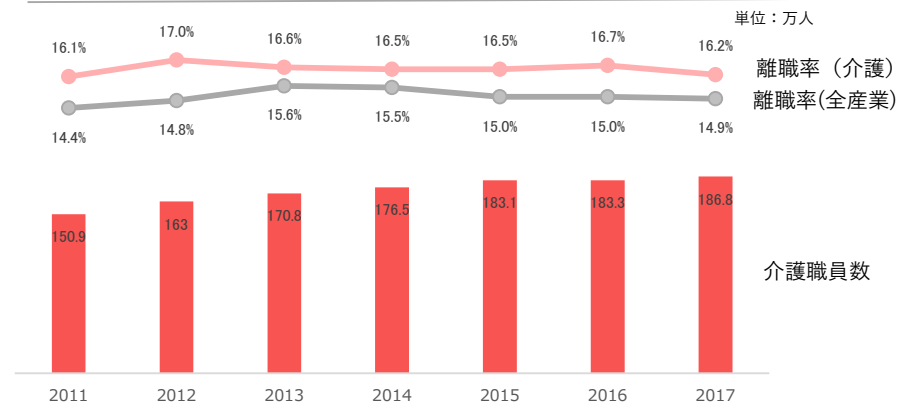
出典：厚生労働省 2019年7月介護人材の確保・介護現場の革新（参考資料）
総務省統計局 人口推計

介護職の需給予測



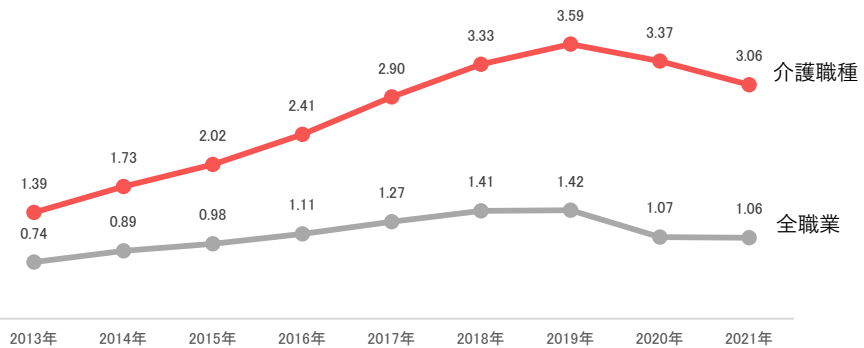
出展：経済産業省 2018年4月将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究会報告書

介護職と離職率の推移



出典：厚生労働省 2019年7月介護人材の確保・介護現場の革新（参考資料）

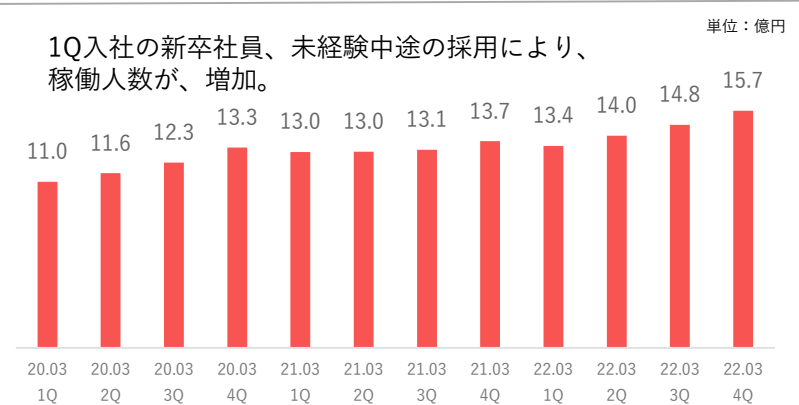
介護職の有効求人倍率の推移



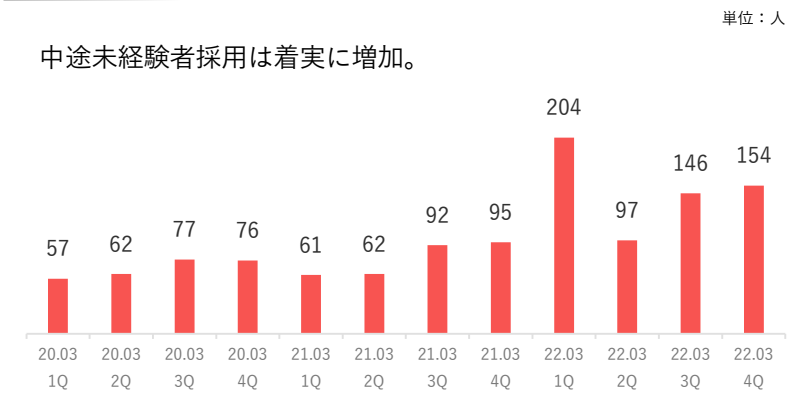
出典：総務省統計局 一般職業紹介状況

未経験中途の採用数が増加し、稼働人数が増加。2022年4月に新卒236名入社。

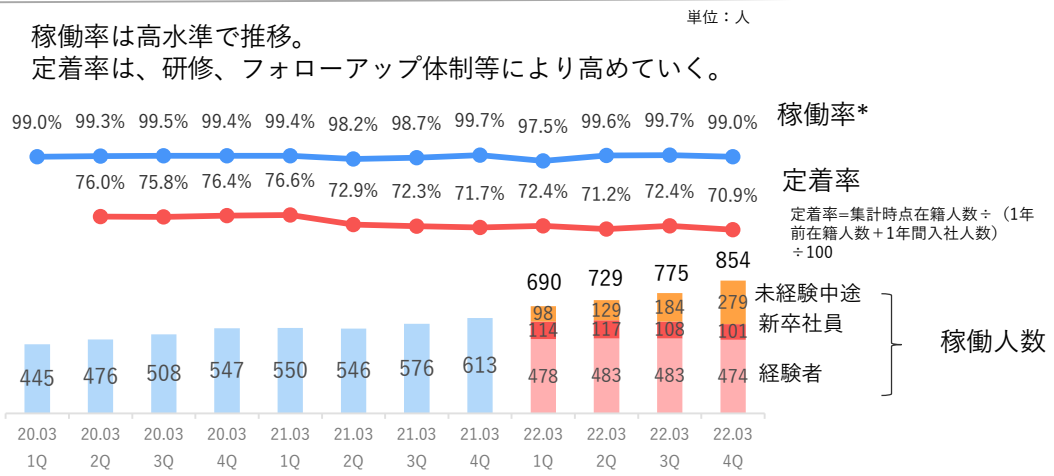
四半期別売上高の推移



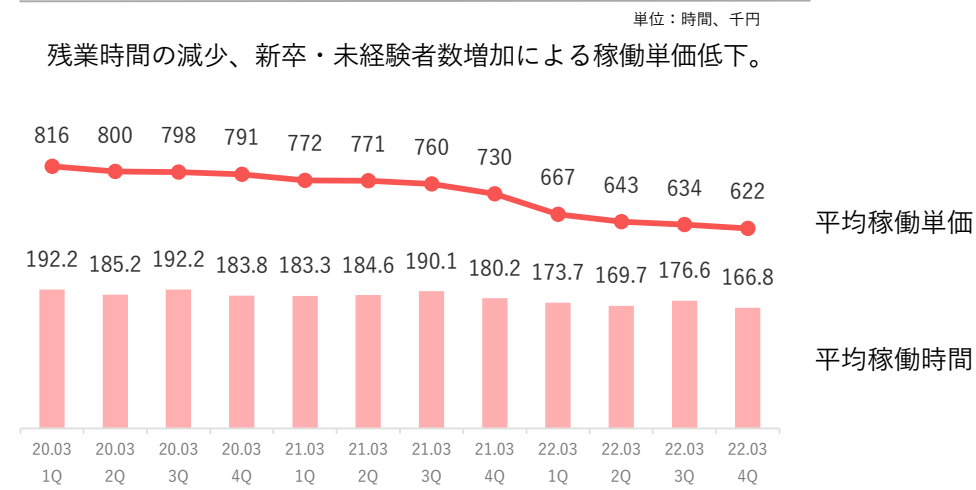
採用人数



稼働人数、稼働率、定着率



(月間) 平均稼働時間、平均稼働単価



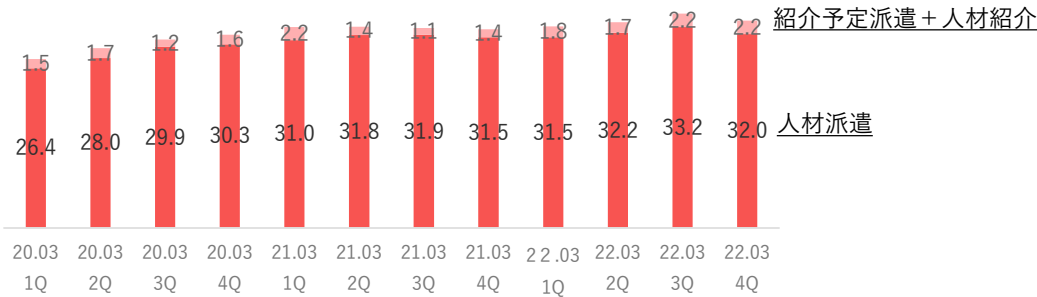
*22.03 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した2021年6月の稼働率です。研修期間の影響を含めた22.03 1Qでの稼働率は、90.4%になります。

注力している紹介予定派遣が、当初の想定を下回る。
今期は介護施設に対する営業の強化、求職者のターゲットを絞り基盤を構築する。

四半期別売上高の推移

単位：億円

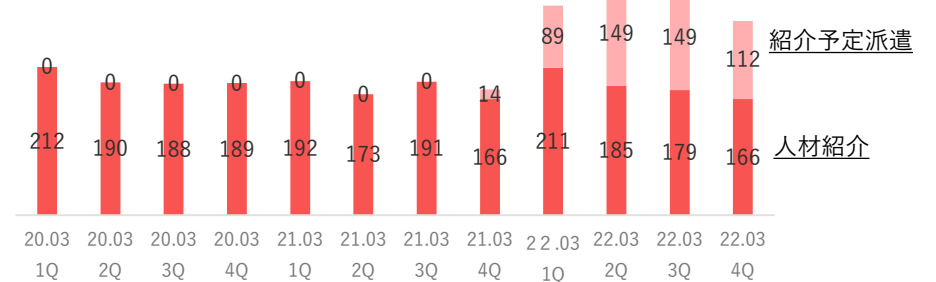
人材派遣は、堅調に推移。



紹介予定派遣及び人材紹介成約人数

単位：人

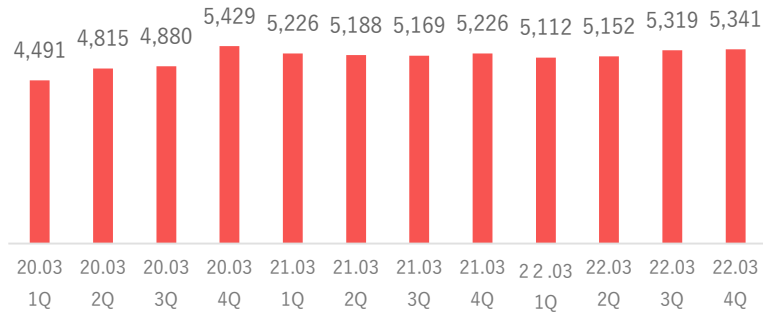
紹介予定派遣の認知がまだ低く、オーダー数、採用数が計画を下回る。今期で基盤構築。



派遣稼働人員数

単位：人

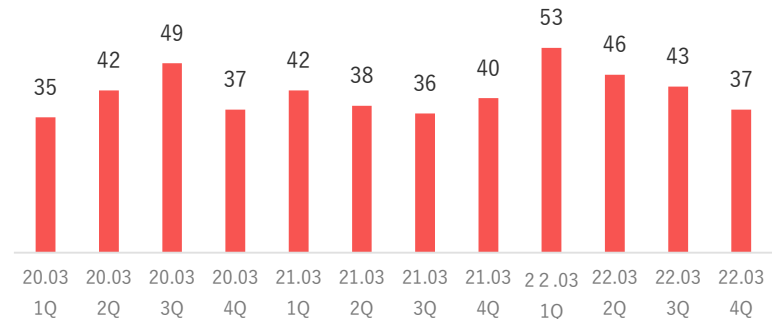
新規オーダーが回復傾向で、稼働人数は増加。



紹介予定派遣及び人材紹介部門社員数

単位：人

紹介予定派遣の体制構築後、再度採用強化。



紹介予定派遣

人材紹介



働く前に決める

入社後の定着率

低い

STEP1

情報収集

STEP2

応募

STEP3

面接

STEP4

内定

STEP5

入社

紹介予定派遣



働きながら決める

入社後の定着率

高い

STEP1

情報収集

STEP2

派遣スタッフとして就業（3ヶ月－6ヶ月）

STEP3

入社

4

2023年3月期業績予想、株主還元

2023年3月期 通期連結業績予想

売上収益、売上総利益、営業利益の全てで中期経営計画の経営目標を上回る見通し。

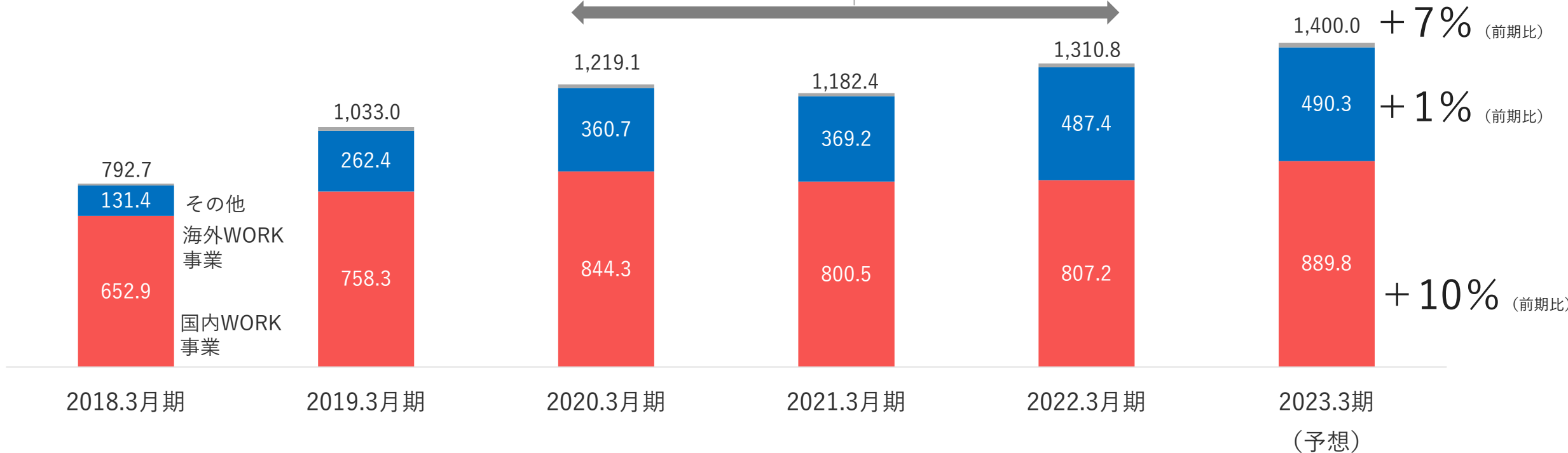
(億円)	2022.3月期	2023.3月期 (中計目標)	2023.3月期 (業績予想)	前期比		中計目標比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上収益	1,310.8	1,335.0	1,400.0	+ 89.2	+ 6.8%	+ 65.0	+ 4.9%
うち国内WORK事業	807.2	949.8	889.8	+ 82.6	+ 10.2%	△59.9	△6.3%
うち海外WORK事業	487.4	361.1	490.3	+ 2.8	+ 0.6%	+ 129.1	+ 35.8%
うちその他	16.0	24.0	19.8	+ 3.7	+ 23.2%	△4.2	△17.6%
売上総利益	287.6	301.6	315.8	+ 28.1	+ 9.8%	+ 14.2	+ 4.7%
(売上総利益率)	21.9%	22.6%	22.6%	+ 0.6pt	-	0.0pt	-
営業利益	54.7	53.5	56.0	+ 1.2	+ 2.3%	+ 2.5	+ 4.7%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	4.0%	△0.2pt	-	0.0pt	△0.2%
うち国内WORK事業	44.4	60.8	56.9	+ 12.4	+ 28.1%	△3.8	△6.3%
うち海外WORK事業	33.4	16.4	25.8	△7.6	△22.8%	+ 9.4	+ 57.9%
うちその他	△3.4	△0.0	△1.9	+ 1.4	-	△1.9	-
うち調整額	△19.8	△23.7	△24.8	△5.0	-	△1.2	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.8	29.0	33.3	+ 0.4	+ 1.3%	+ 4.3	+ 14.8%
EBITDA	75.5	71.8	76.7	+ 1.1	+ 1.5%	+ 4.9	+ 6.8%
為替レート	前期実績	2023.3月期 (中計目標)	2023.3月期 (業績予想)	1円変動による影響額/年			
				売上収益		利益	
オーストラリアドル	83円	68円	78円	4.6億円		0.3億円	
シンガポールドル	83円	72円	79円	1.1億円		0.1億円	

セグメント別売上推移

国内WORK事業は、感染症拡大前から成長が止まっていたが、2023年3月期は2桁（+10％）の成長を見込む。

(2020年3月期-2022年3月期)

国内WORK事業	CAGR	△2%
海外WORK事業	CAGR	+16%



国内WORK事業の領域別戦略



株式会社ウィルオブ・ワーク
セールスアシスト事業部 事業部長
田中 寿昇

セールスアウトソーシング領域



ポイント

売上	アパレル、営業支援領域の拡大。
利益	現場正社員数増加により、外注費削減により売上総利益率向上。



株式会社ウィルオブ・ワーク
コールアンドオフィスデザイン事業部 事業部長
平畑 悠

コールセンターアウトソーシング領域



ポイント

売上	アウトソーシング需要の増加により、業務受託の増加。
利益	業務受託比率増加により売上総利益率向上。



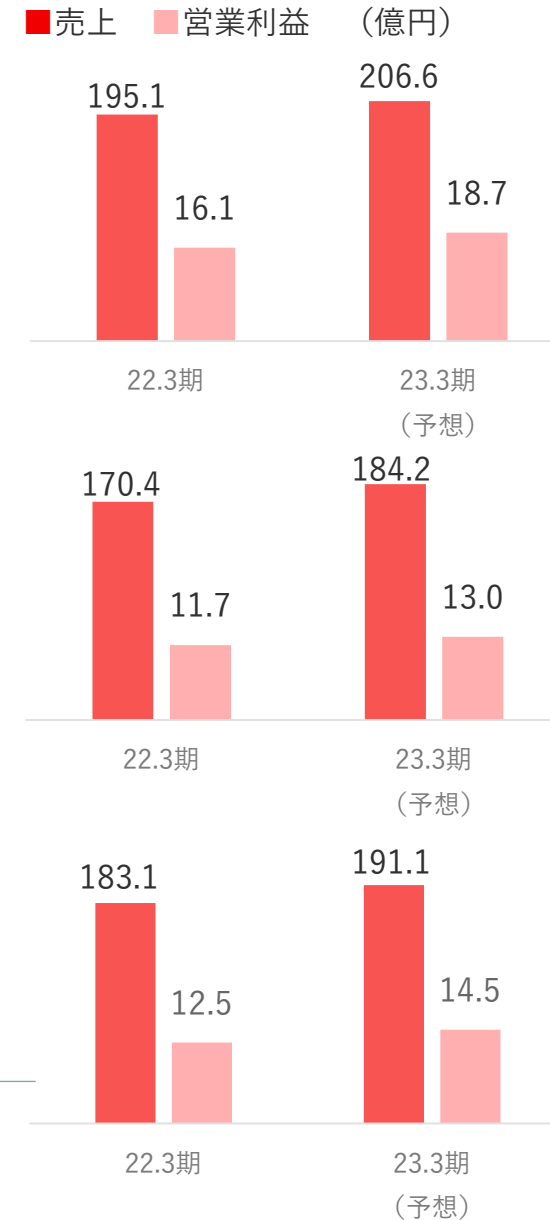
株式会社ウィルオブ・ワーク
取締役
土肥 貞之

ファクトリーアウトソーシング領域



ポイント

売上	入国再開による外国人の人材紹介、外国人管理受託人数の増加。
利益	人材紹介売上、管理受託収入の増加。



国内WORK事業の領域別戦略



株式会社ウィルオブ・ワーク
取締役
武田 広伸

介護ビジネス支援領域



ポイント

売上	注力している紹介予定派遣、人材紹介の増加。
利益	人材紹介売上の増加。



株式会社ウィルオブ・コンストラクション
代表取締役社長
角 裕一

建設技術者領域

ポイント

売上	新卒、未経験者採用数の増加による稼働人員数の増加。
利益	採用費及び営業人員等の先行費用増加するも、売上総利益が増加。



フォースタートアップス株式会社

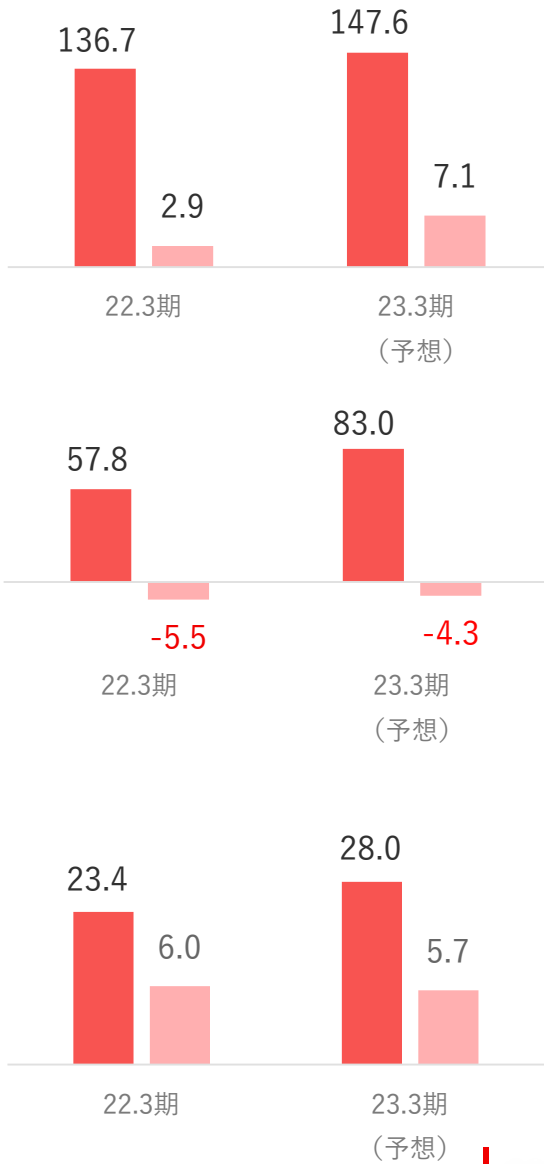
スタートアップ人材支援領域



ポイント

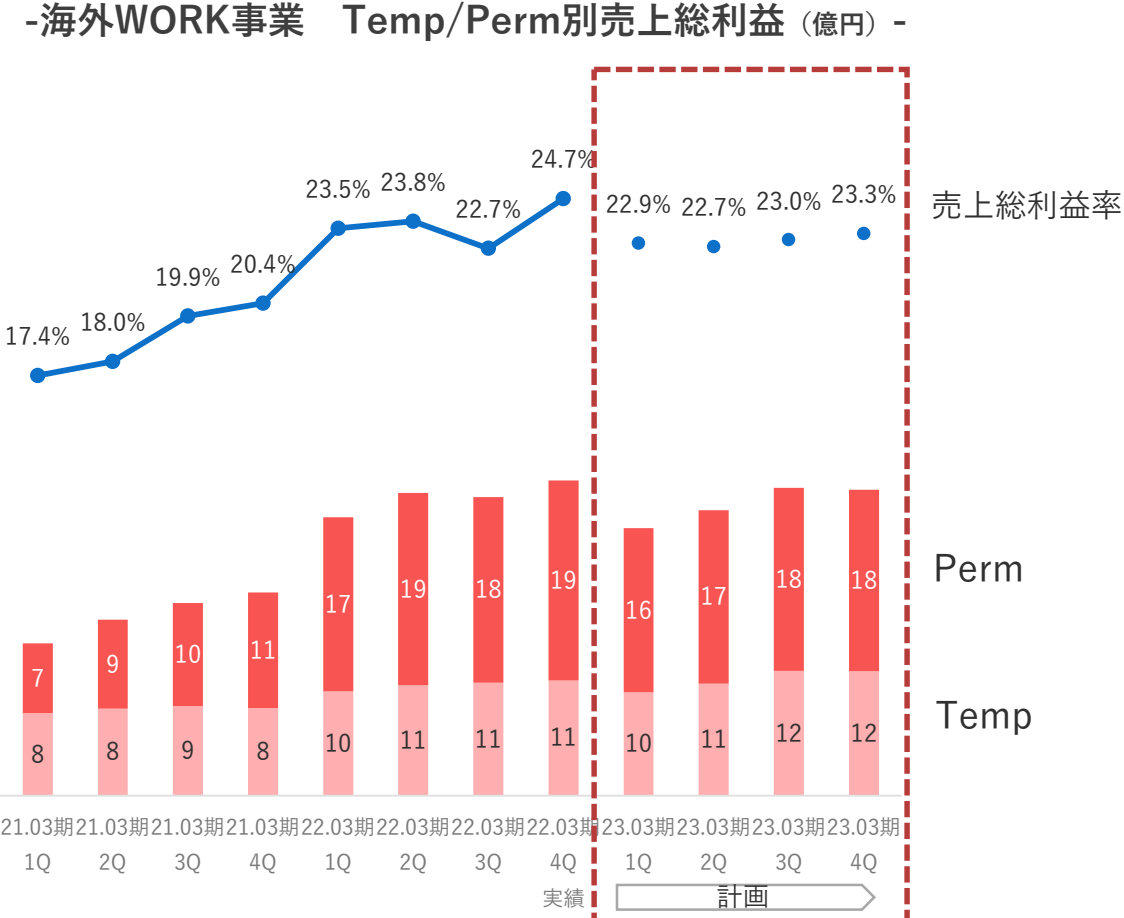
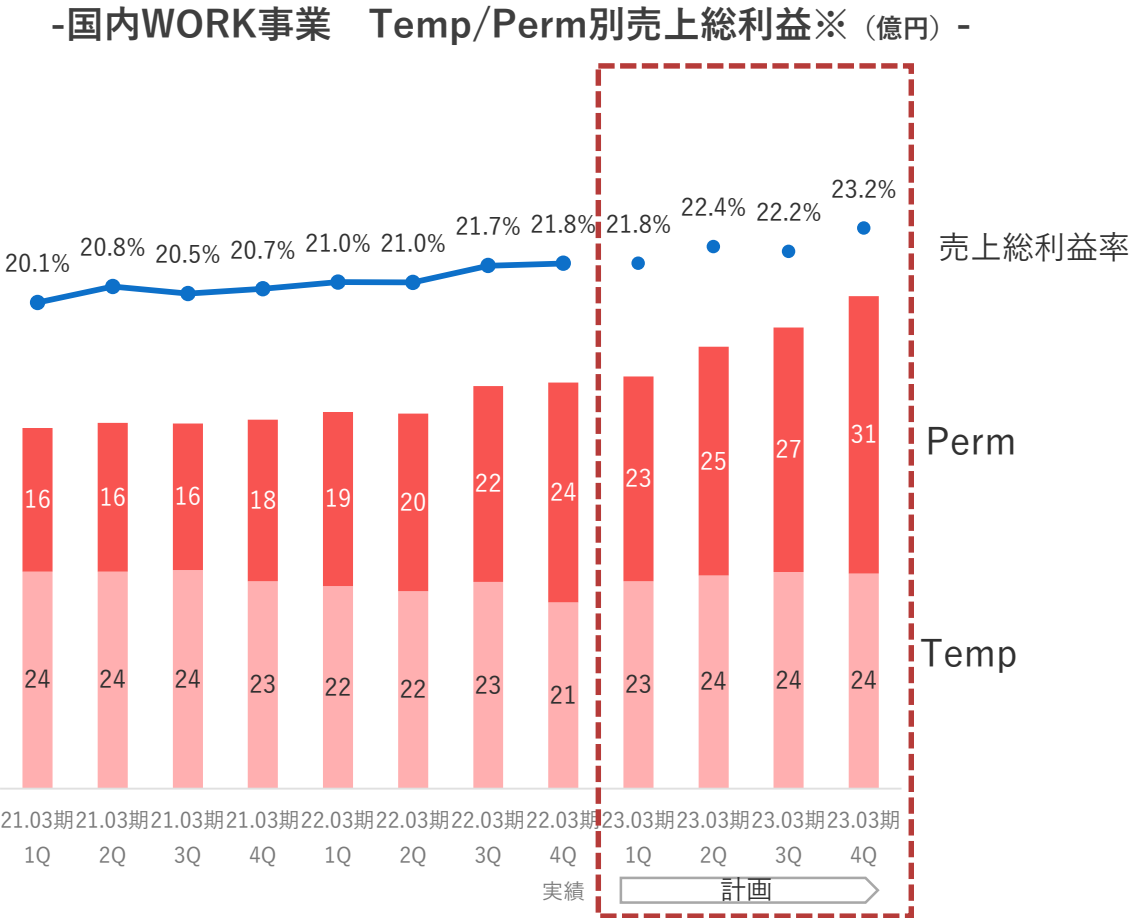
売上	求人案件数は高水準で推移し、安定的に成長。
利益	求人案件数の状況に鑑み、コンサルタント採用等の先行費用増加。

■売上 ■営業利益 (億円)



(国内・海外) ポートフォリオシフト計画

海外WORK事業は、前期と比較して人材紹介需要が落ち着く見通し。国内WORK事業は、全領域で改善見通し。よって、連結売上総利益率は、さらに上昇する見通し。



※セグメント内の連結調整は含んでいません。
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

株主還元（2023年3月期配当予想、株主優待）

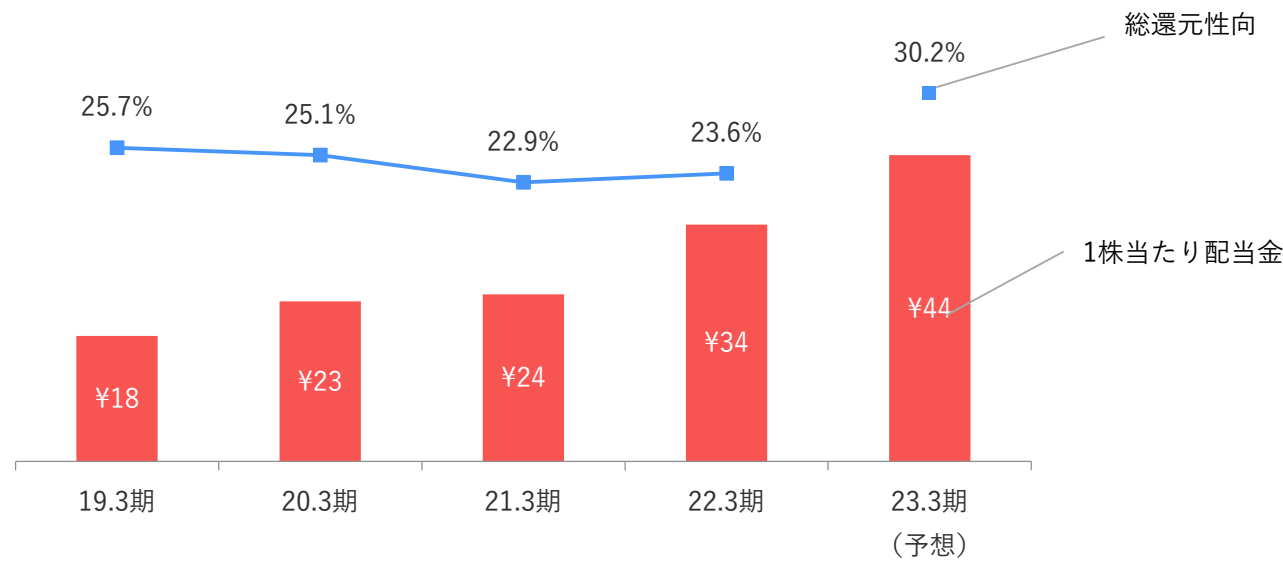
2023年3月期配当予想は、1株あたり44円（総還元性向：30.2%）。

■現中期経営計画における株主還元方針

中長期保有を目的にした株主優待制度

期首業績予想に対し、総還元性向：30%。

■1株当たり配当金、総還元性向の推移



継続保有期間*	100株以上 200株未満	200株以上	優待利回り*
1年未満	クオカード 500円分	クオカード1,000円分	0.5%
2年未満	クオカード1,000円分	クオカード2,000円分	0.9%
3年未満	クオカード1,500円分	クオカード3,000円分	1.4%
3年以上	クオカード2,000円分	クオカード4,000円分	1.9%

* 継続保有期間は、基準日である毎年3月31日から起算し、3月31日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して、2年未満は2回、3年未満は3回、3年以上は4回以上、記載または記録された株主様を対象といたします。
* 優待利回りは、2022年6月23日終値：1,065円で試算しています。

5 サステナビリティ

MISSION・VISION・VALUE

MISSION

個と組織をポジティブに変革するチェンジエージェント・グループ

VISION

「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「暮らす」の事業領域において、期待価値の高いブランディングカンパニーを創出し、各領域においてNo.1の存在になる

VALUE

Believe in Your Possibility – 可能性を信じる –

Working

「働く」をサポートする

「働く」の事業領域は、人の働くを支援し、ポジティブなキャリアを積めるようなサービスを提供します。

Interesting

「遊ぶ」をサポートする

「遊ぶ」の事業領域は、人の遊ぶを支援し、より多くのワクワクする瞬間を創り出せるようなサービスを提供します。

Learnig

「学ぶ」をサポートする

「学ぶ」の事業領域は、人の学ぶを支援し、生涯の成長を楽しめるようなサービスを提供します。

Living

「暮らす」をサポートする

「暮らす」の事業領域は、人の暮らすを支援し、心身ともに健やかな時間を過ごせるようなサービスを提供します。

*Believe
in Your Possibility!*

価値創造の源泉

大切にする価値観

MISSION
個と組織を
ポジティブに変革する
チェンジェージェント・
グループ

VALUE
Believe in
Your Possibility
—可能性を信じる—

社会のトレンド

- 労働人口の減少
- ポストコロナ
新たな働き方
- テクノロジー高度化

重点課題(マテリアリティ)への対応・解決

4 変化のきっかけと成長できる機会を。

5 ジェンダーに捉われない平等な世の中に。

8 働きがいも経済成長も。

10 できることではなくやりたいことを選べる明日へ。

企業価値の向上

■ 財務

中期経営計画
WILL-being 2023

ポートフォリオシフトによる
収益性の改善

×

デジタルシフトによる
生産性向上

↓

高収益体質化を目指す
「WORK SHIFT戦略」

2023年3月期 目標

■ 売上収益	1,400億円
■ 営業利益	56.0億円
■ 営業利益率	4.0%

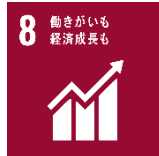
■ 非財務

- well-beingの向上
- NPS(顧客推奨度)の向上

目指す未来

世の中に
ポジティブな
変化を。

社会（Social）への取り組み



変化のきっかけと成長できる機会を。

ジェンダーに捉われない平等な世の中に。

働き方の変革を。働きがいの創出を。

できることではなくやりたいことを選べる明日へ。

パートナーとともに世の中をポジティブに。

具体的な取り組み

- ・介護職の資格取得を支援する介護資格スクールの運営
- ・証券外務員資格の無料オンライン講座の実施
- ・外国人就労者への日本語教育の実施
- ・全社員向けwell-beingワークショップの実施
- ・マネジメント層向けコーチング研修の実施
- ・チームビルディングワークショップの実施

- ・性別に捉われない就業機会の提供
- ・女性活躍推進プロジェクト
- ・性差の理解を深める講演会の実施

- ・国内WORK領域のブランド(WILLOF)ビジョン「Chance-Making Company」の新設
- ・コールセンターの在宅支援サービス「ZaTact（ザイタクト）」開始
- ・在宅勤務制度、副業解禁等多様な働き方の推進
- ・年4回のwell-beingサーベイ実施
- ・国内WORK領域のブランドビジョンの実現と社会貢献を目的としたWILLOF財団の設立

- ・障がい者雇用を促進する（株）ウィルオブ・チャレンジ設立
- ・外国人向け生活支援サービス「ENPORT（エンポート）」の提供
- ・技能実習生、特定技能制度による外国人就業支援
- ・幅広い年齢層への就業機会提供

- ・海外送り出し機関との協業による外国人の就業や生活支援
- ・社員の有志団体「WILLハート会」による災害地域の子供たちの居場所、キャリア支援
- ・地域経済活性化を目的としたコールセンター設立による雇用の創出
- ・CVCによるスタートアップ企業への投資
- ・IT人材を活用した地方企業等のDX支援

-介護職実務者研修の様子-



-2021年3月末男女比率（グループ全体）-



正社員

管理職

-働き方制度-

各勤務制度の導入時期

2018年4月：フレックスタイム制度、短日・短時間勤務制度
2019年4月：在宅勤務制度
2019年10月：パラレルワーク制度（副業解禁）

-ウィルオブ・チャレンジ設立-



-来日した技能実習生(2022年5月)-



“夢追う派遣社員”へ夢を叶える活動資金支援 ー スポーツ選手・アート作家など4名の派遣社員を支援 ー



もう一度、プロビーチバレーの舞台へ
(大阪府在住・食品製造工場勤務)



フィンスイミングマスターズクラス
世界大会出場へ
(神奈川県在住・介護職勤務)



スノーボード全日本出場への挑戦
(長野県在住・販売職勤務)



障がいをお持ちの方でも楽しめる
ステンドグラスアートを
(千葉県在住・コールセンター勤務)

環境（Environment）への取り組み

-環境方針-

当社グループは、地球環境を持続的かつ安全に守っていくために、エネルギー使用量の削減等による気候変動問題、資源の再利用、生物多様性保存に積極的に取り組んでいきます。



-目標-

2031年3月期までに2020年3月期比でCO2排出総量※の20%を削減。

※CO2算定の対象領域として、オフィスからのCO2排出だけでなく、従業員の事業活動や、サービスのライフサイクル全体もCO2算定の対象範囲としています。クライアント、取引先、従業員と協働しながら、広範囲での地球温暖化防止活動に取り組んでいきます。

具体的な取り組み

- ペーパーレス推進（スマホアプリを活用したスタッフとの雇用契約関連電子化等）
- 省エネルギーの徹底（ビジネスカジュアルの推奨、オフィス面積の削減等）
- 循環型備品購入の推進



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

Mail : ir@willgroup.co.jp

TEL : 03-6859-8880